

○意見の概要と本市の考え方

意見者	No	項目	意見の概要	本市の考え方
1	1	第4章 重点戦略とアクションプラン 戦略の柱【B】人財育成 (アクションプラン2) (アクションプラン4)	(アクションプラン2) 発信だけでなく 子供から受信も。利益や損得抜きの子供の意見に本当の魅力がありそう。 (アクションプラン4) 多様だからこそ「普通じゃないから間違い」という考えではなく、それぞれの人の個性であり、それがブランドになると思う。	本ビジョンにおいては、地域産業の魅力を広く発信し、次世代へとつなげていくことを重要な指針のひとつとして掲げております。地域の魅力発信において、子どもたちの率直な視点や価値観には、大人では気づきにくい地域の魅力や新たな発見が含まれている可能性があり、大変重要な視点であると考えます。今後、具体的な取組を進めていく中で、学校や若い世代の視点を取り入れた発信のあり方についても参考とさせていただきます。 これからの社会においては「普通ではないこと」を課題として捉えるのではなく、それぞれの個性や違いを価値として捉え、強みに変えていく視点が重要であると考えます。本ビジョンにおいても、多様な人材がそれぞれの力を発揮できる産業環境づくりを目指しており、そのような考え方は地域産業の新たな価値創出にもつながるものと考えております。
	2	第6章 推進体制と役割分担 (ビジョンの周知)	(ビジョンの周知) 私のように工業や仕事に縁がない人は きっと興味がなければ目に入ることもないと思う。 私なら懸賞が好きなので、スローガンをクイズの答えにすることで賞品欲しさにググるだろう。 もしくは、花物語や西日本マラソンやおだいっさんなど、タダで手に入るパンフレットに載せると市外の人にも気付いてもらえるのでは？	本ビジョンについては、関係者だけでなく、普段興味がない市民の皆様も含めて、より多くの方に関心を持っていただけるような工夫がたいへん重要であると考えております。 クイズ形式による関心喚起や、イベント・パンフレットなどを活用した情報発信の方法については、市民の皆さまに興味を持っていただくための一つのアイデアとして参考とさせていただき、今後の周知・広報の取組を検討してまいります。
	3	第7章 延岡市工業振興ビジョン導出に係る参考資料 企業アンケート結果から見える特徴的な傾向	(多品種少量生産、ブランド化・情報発信) 私は今働いていないし PC も使いこなせないの時代に取り残される立場だが、こんな私でも今後 AI やロボットが当たり前の世の中に変わるのは想像がつく。 私ならイメージだが、パターン化された繰り返し作業や大量のデータ計算は AI に任せ、AI が苦手とする人間らしいぬくもりや感情・道徳的判断・独創的なアイデアで「多品種少量生産」を考えるだろう。ただし、どんなに良い商品が生まれたとしても ブランド名が無いと見つけれない。 例えば、楽天を開けば、服でも食べ物でも旅行でも探せるように、延岡のコレを開けば見つかるというインパクトのあるキャッチフレーズがあると良いと思った。	AI 等のデジタル技術と人でしかできない技術を融合しながら、延岡のものづくりの強みである技術力や創意工夫を活かし、本市工業の特徴であり強みでもある「多品種少量生産」など付加価値の高いものづくりをさらに強化していく必要があると考えます。 また、優れた製品や技術を広く知ってもらうためには、地域としてのブランド力の強化や情報発信の仕組みづくりも重要であると考えております。地域で生産された製品の PR 強化に努め、今後販路拡大や情報発信に取り組んでまいります。

2	4	<p>その他</p>	<p>(ビジョンの周知) 延岡市工業振興ビジョンって何だろうと資料を読んで見ましたが、認知度がまったくなくて申し訳ありません。何度も読み返して、やっと延岡市の取組だと思いました。</p> <p>(災害対策) 興味深いものとして、南海トラフ大地震、津波やミサイルが落下した時の避難場所や避難塔等は十分に足りているかどうか考えます。</p> <p>(若い世代の活躍) 又、延岡市の人口減少に対しても、やはり若い人達の力は絶対に必要だと考えます。資料にはその様な事もちゃんと書かれているのに、安心しました。</p>	<p>本市としても、工業振興ビジョンの認知度については課題として認識しており、今後は市民の皆さまにより関心を持っていただけるよう、周知や情報発信の工夫に努めてまいります。</p> <p>また、南海トラフ地震や津波などの災害に関する避難体制についてのご意見につきましては、市民の安全・安心に関わる重要な課題であると認識しております。本ビジョンでは、地元企業のBCP(事業継続計画)対策にも言及しておりますが、防災分野の取組とも関係するものであることから、関係部局と連携しながら、安全・安心なまちづくりが図られるよう取り組んでまいります。</p> <p>さらに、人口減少への対応における若い世代の重要性につきましても、本ビジョンにおける人材の確保・育成を重要な柱の一つとして位置付けており、若い世代が地域で活躍できる環境づくりについて、今後の取組を推進してまいります。</p>
3	5	<p>第1章 延岡市工業振興ビジョン策定の趣旨・目的 1-2.位置づけ—延岡市の主要な計画との関係</p>	<p>(豊かな自然を活かした産業振興) 長期総合計画の基本構想で延岡の発展、人が集まる豊かな延岡市に延岡の木や水を工業に活かして人の集まる市つくりになったら良いと思います。</p>	<p>豊かな自然資源を活かしたまちづくりについては、本市の特性を踏まえた視点だと考えております。</p> <p>本ビジョンにおいても、地域の強みを活かした産業振興を基本としており、自然と調和した産業の発展は、その方向性と合致するものです。今後も、豊かな自然資源を活かしながら、本市らしい産業と人が集まるまちづくりを進めてまいります。</p>
4	6	<p>第4章 重点戦略とアクションプラン 戦略の柱【B】人財育成</p>	<p>・地元での就職や定着の促進に向けた取り組みの強化について、地元企業への理解を深めることと併せ、もう一方で、次のような取り組みを通じて新たな職種の創出に向け、地場産業にない業種への転換や拡大のための支援若しくは市・県外からの企業誘致についての検討・取り組み</p> <p>(1)将来どのような職業に就きたいか、子供や中高生が進学(小→中、中→高、高→大)するタイミングを利用し、将来の目標を持たせながら地元延岡にどんな業種の企業があれば、地元以外への就職をしなくて良いかなどの意見や希望を聞き取るアンケートの実施。同時に保護者等へも家庭内での話し合い等があれば状況等を参考意見として把握する等を取り組む。 関連し、本年の公立高校の受験希望で工業高校の志望者が多かったとの報道が記憶に新しいところから、その背景や動機を把握する取り組みを行う。</p> <p>(2)昨年度、高校や大学等を卒業して就職し、若しくは、昨年度以前に高校や大学を卒業し就職した者等に対し、(1)と同種の質</p>	<p>地元での就職・定着の促進に向け、若い世代の意向把握や新たな職種の創出、さらには地場産業にない業種の拡大や企業誘致の必要性についてのご提案は、人口減少が進む中で大変重要な視点であると認識しております。</p> <p>本ビジョンにおいても、人材の確保・育成や産業の多様化、企業誘致の推進を重要な柱として位置付けており、ご意見の趣旨はその指針と合致するものです。</p> <p>これまでも人材確保に向けては、学校や企業など関係機関と連携し、情報交換や意見交換を行いながら、学生や保護者に向けた地元企業の情報発信、インターンシップの実施、移住・UIターン希望者への情報発信など、様々な取組を進めてまいりました。</p> <p>また、頂いたご意見のとおり、進学や就職のタイミングにおける意向把握や、地元就職・県外就職者の動向分析などについては、実効性のある施策を検討する上で有効な手法であると考えられることから、関係機関とも連携しながら、今後の取組の参考とさせていただきます。</p> <p>今後も、若い世代が地元で働き、活躍できる環境づくりと、多様な産業機会の創出に向けた取組を進めてまいります。</p>

		<p>問若しくは地元企業へ就職した理由を多角的に質問する。併せて、大学等へ進学した理由並びに地元にてどのような業種の企業の存在によっては地元企業への就職の可能性判断等の意見を把握する調査の実施。</p> <p>(3)併せて県外に就職した際に地元にてどのような職業の企業があればUターンしても良かったか等のアンケートの実施を通じて、地元へ定着するための手がかりを探り、より地元への定着に向けたアクションビジョンの確立に反映させられないだろうか。</p>	
--	--	---	--